



<フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2021年10月6日

フィリピン総選挙及びフィリピン大統領選挙 2

選挙管理委員会 (COMELEC) からの最新情報によれば、2022年選挙向けの登録済み有権者の数は6,300万人に達し、当初予測5,900万人を上回った。フィリピン統計局による予想有権者の数は7,330万人以上となり(人口開発委員会によれば、9月29日時点同国の人口は約1億1155万人)、コロナ禍が続いていることやロジスティック面での制約があったため、有権者の登録期間を10月末まで1ヶ月延長することが提案された。当初の選挙管理委員会の計画は10月9日までの延長であったが、さらに期間を延ばし10月31日までの3週間の延長で決した、とフィリピンオンラインニュースサイトが報じている。(海外の有権者の登録期限締切は10月14日)。

登録済みの有権者数は6,300万人以上



有権者の登録期間を10月31日に延長



大統領職への立候補者は9月後半に4名追加となり、9月29日時点での立候補者は以下の6名である。

写真の順番はテーブルの番号に対応して左から右、上から下へ

番号	立候補の氏名	年齢	備考
1	フランシスコ・ド・マゴソ FRANCISCO DOMAGOSO	47歳	フィリピンの政治家・元俳優(芸名: Isko Moreno)である。2019年からマニラ市の22番目の市長を務めている。
2	クリストファー・ゴ CHRISTOPHER GO (BongGo)	47歳	ドゥテルテ大統領の長期的な補佐官
3	パンフィロ・ラクソン PANFILO LACSON	73歳	立候補を宣言する最初の人物。上院議員で有名な犯罪の解決専門の元警察署長である。2004年以来2度目の大統領選出馬。
4	フェルディナンド・マルコス FERDINAND MARCOS (BongBong)	64歳	政党「連邦党」を創設したマルコス元大統領の長男・上院議員である。2016年に副大統領候補として出馬した。
5	マニー・パッキャオ Manny Pacquiao	42歳	フィリピンのプロボクサー・政治家である。
6	マリア・レオノール・ロブレド MARIA LEONOR ROBREDO	56歳	現フィリピン副大統領、2番目の女性副大統領でもある。レニー・ロブレドとも呼ばれている。

フィリピン選挙管理委員会 (COMELEC) 情報およびオンラインニュース報道に基づきCPVN作成

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



フィリピンの有力な世論調査機関が9月6日～11日に実施した世論調査では、ドゥテルテ大統領の長女であるサラ・ジーママン・カルピオ氏が前回調査(6月)に比べて数字的には低下したものの、20%の支持率を獲得していた(他の候補者は混戦状態)。サラ氏は当初大統領選挙戦に出馬する予定だったが、9月初旬に選挙戦からの離脱を表明した。現在ダバオ市長であり、来年もダバオ市長選への再出馬を表明している。とはいえ、彼女

2022 ELECTIONS: FIRST CHOICE PRESIDENTIAL PREFERENCE
September 6 -11, 2021 / Philippines / PR1&2
(In Percent)

Base: Total Interviews, 100%

Of the people on this list, whom would you vote for as PRESIDENT OF THE PHILIPPINES if the May 2022 elections were held today and they were candidates?
You may mention others not included in this list.

RP	LOCATION				CLASS			
	NCR	BL	VIS	MIN	ABC	D	E	
DUTERTE, SARA "INDAY"	20	12	8	23	47	16	20	25
MARCOS, FERDINAND "BONGBONG"	15	28	20	5	8	18	16	12
DOMAGOSO, FRANCISCO "ISKO MORENO"	13	19	16	15	3	20	14	7
PACQUIAO, EMMANUEL "MANNY"	12	6	9	21	15	7	11	20
POE, GRACE	9	8	11	10	6	12	9	10
ROBREDO, MARIA LEONOR "LENI"	8	10	8	12	4	8	8	11
LACSON, PANFILO "PING"	6	7	7	7	3	8	6	4
CAYETANO, ALAN PETER	4	3	5	3	6	2	5	4
GO, CHRISTOPHER "BONG GO"	3	2	1	2	7	1	3	3
TRILLANES, ANTONIO "SONNY"	1	0	1	1	0	0	1	1
BELLO, WALDEN	0.1	0	0	0	0	0	0	0
TEODORO, GILBERT "GIBO"	0.1	0	0	0	0	0	0	0
Others	0.3	1	0	0	0	0	0	0
UNAIDED								
Don't Know/Refused/None	7	4	13	1	2	9	8	2
Don't know	3	1	5	0	1	0	4	1
Refused	1	1	1	1	0	2	1	1
None	4	1	7	0	0	7	3	1

出所: フィリピンオンラインニュースサイト

は2015年のドゥテルテ氏出馬のように、最終段階で出馬する可能性があるとの見方もある。

なお、この調査は複数の有力者が出馬を公式宣言していない時点で実施された。例えば、パッキャオ氏とドマゴソ氏は調査期間後の9月19日、9月22日に、出馬表明した。現時点で出馬していない候補者もまだいるようであり、今後も情勢が変わる可能性がある。当社では、今後もフィリピン総選挙の進展について引き続き状況を報告していく。

フィリピン総選挙のメイン・タイムライン

20年1月20日～21年9月30日 投票者の登録期間	21年10月1～8日 候補者証明書の提出期間	20年10月29日 選挙管理委員会は候補者の暫定リストの作成・公表	21年11月15日 投票用紙の作成(候補者の確定)	22年1月9日～6月8日 = 選挙期間 銃器の持ち運び・使用および地方選挙公務員の職務停止が禁止される
--------------------------------------	----------------------------------	---	-------------------------------------	---

同総選挙の準備は2020年1月から開始されており、コロナの感染拡大で一部遅れも出たものの、2022年1月9日～6月8日の選挙は予定通り実施される見通し。

2022年1月9日～6月8日 = 選挙期間の詳細

22年2月8日～5月7日 全国選出対象役職者候補の選挙運動期間	4月10日～5月9日 海外・地方の不在者投票期間	5月8日 投票日前日 選挙運動、酒の消費が禁止される	5月9日 投票日	5月9日～16日 開票作業期間
22年3月25日～5月7日 地方選出対象役職者候補の選挙運動期間				6月8日 候補者による支出明細書提出期限
				6月30日 当選者の就任日

2022年4月14日～15日は祭日(聖木曜日と聖金曜日)のため選挙運動が禁止される。

フィリピン選挙管理委員会 (COMELEC) リリース報道に基づきCPVN作成